

2024.08.30

新宿支部の
公式 Twitter も
チェック!

No. 018

Think Big!

～Breaking News～

人間の創り出す生産技術の発達や
品質改良が進む一方で、環境への負担も
近年に急増をしているアパレル業界の現状

経済産業省は今年の夏に衣類のリサイクルを推進するプランをまとめ、2030年度までに家庭から破棄される衣類の量を、2020年度比で「25%の削減」を目指します。

衣類はその製品を製造するにあたり大量の資源やエネルギーを使い、例えば服1着を生産するまでに、使われる水の消費量は浴槽11杯分、二酸化炭素の排出量はペットボトルの255本分と言われています。アパレル産業は環境への負担が大きい産業とされ「大量消費と大量廃棄」が国際的な課題となっています。

1990年に年間20億点の衣類が供給をされましたが、現在はその供給が40億点と倍増しました。一方で衣類1枚の価格はこの30年間で半額以下になりました。

衣類のリサイクルは国内ではまだまだ不十分のようです。2022年に家庭からの衣類は70万トンが手放され、その内の46万トンは廃棄・ごみ処理をされています。衣類のリサイクルを強化する潮流は世界的に強まっています。欧州ではアパレル事業者に対して、売れ残った衣類の破棄を禁じる規制を導入する予定です。

支部情報紙のタイトルは「Think Big (大きく考える)」です。
「自分たちに何ができるか?!」と、思考力を高めていきましょう!